

勢和農村 RMO 1 年目の取り組み

過疎化・高齢化がすすむ勢和地域において、これまでの仕組みをカバーする地域資源活用や住民の生活サポート、農地保全を地域で連携して行うための土台となる調査作業を行いました。

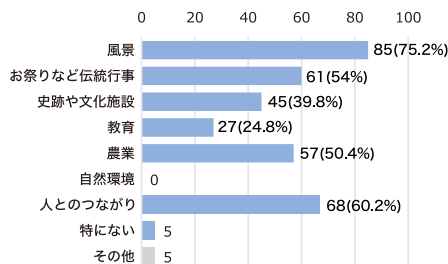
地域資源活用調査 主な6次産業施設を対象にヒアリングを行いました。

元丈の里ゆめ工房やふれあいの館、せいわの里まめや、ふるさと屋などに対し、現在取り組んでいる活動や今後の計画、課題、地域連携の可能性や農村 RMO に対する期待についてなどをうかがいました。

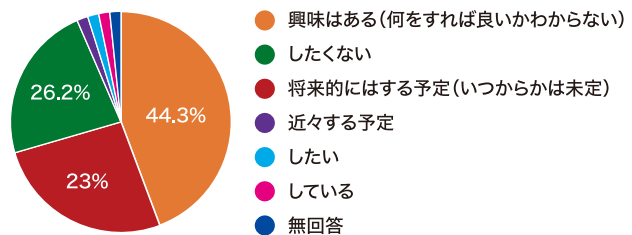
また、勢和地域の子育て世代の方を中心にインターネットアンケートを実施し、111 名の方々からいただいた回答では、地域の魅力として「自然環境」や「風景」を挙げる声が多くあり、また残したい魅力は「風景」、「人とのつながり」、「お祭りや伝統行事」、「農業」と続きました。



問8. あなたが残していきたい勢和の魅力を教えてください。(複数回答可)



問11. 将来的には「農ある暮らし」をしたいですか



生活支援調査

多気町社会福祉協議会や JA 多気郡、民生委員、勢和図書館について資料収集とヒアリングを行いました。また高齢者福祉

多気町について: 勢和地域の現況

町の地域福祉で重点的に取り組むべき事

- ①「体が不自由になっても自宅で生活できるような福祉サービスの充実」36.4%
- ②「身近な場所で気軽に相談できる窓口の充実」33.3%
- ③「緊急時や災害時に地域で助け合える仕組みづくり」29.4%

地域での福祉に関連する課題

- ①「病院や買い物などの交通手段」37.0%
- ②「地震や台風などの災害時の支援体制」29.4%
- ③「ひとり暮らし高齢者への支援」29.7%

※参考資料: 第3次多気町地域福祉計画(計18,624.7)

65歳以上の単独世帯: 多気町 1049世帯

勢和 360世帯

高齢者世帯: 多気町 903世帯

勢和 307世帯

※2022年12月末時点

全国の農村に共通してみられる問題として
過疎化が進み、マンパワーや財源の不足のため社会的介護の提供
が困難であり地域に合わせた工夫が必要になってくる。



高齢者の悩みを
訴える方が多い



高齢者世帯の
増加



医療施設が
整っていない



高齢者の増加



高齢者の増加



高齢者の増加



高齢者の増加



高齢者の増加



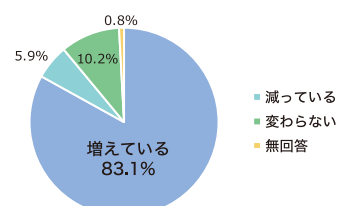
高齢者の増加

農用地調査

農地面積や圃場整備状況についての情報収集、また遊休地に関しては各地区の区長さんを通じてアンケートを行いました。併せて、営農組合に対し、

現在の営農活動や遊休農地の発生状況、また獣害対策についてのヒアリングも行いました。

問2. 最近10年くらいの間で、お住まいの地区に遊休農地は増えていますか



こうした調査結果を踏まえ、今後どのような地域にするべきか、農村RMOがどのような取り組みをしていくのかについて話し合い、実施計画を立てていきたいと考えています。

遡る勢和の1500年

勢和農村 RMO という新しい活動が始まりますが、その前に、あらためて「勢和」ってどんなところなのか振り返ってみたいと思います。

- 2022年** 勢和農村 RMO スタート
- 2006年** 市町村合併で多気町へ
- 1955年** 勢和村の誕生
- 1823年** 立梅用水完成・通水
- 1739年** 野呂元丈（47歳）が8代將軍吉宗のお目見医師となる
- 1717年** 北村醤油醸造場と油田酒醸造場が創業
- 1270年頃** 野呂氏隆が五箇篠山城を築く
- 815年** 空海 / 弘法大師（40歳）により七堂伽藍が建立
- 774年** 丹生山神宮寺（丹生大師）が勤操大徳により開山
- 523年** 丹生神社ご鎮座

今年は
200周年！

西村彦左衛門像

かつての「勢和村」は、五ヶ谷村（波多瀬、片野、朝柄、古江、土屋、車川、色太）、松阪市（上出江、下出江）と丹生村が合併してできた村で、米作りなどの農業や商売を営んでいました。江戸時代に立梅用水を丹生の西村彦左衛門さんが中心となって整備してくれたおかげで、お米がたくさん収穫できました。彦左衛門さんの家は酒屋でしたが、当時の丹生は神宮寺と丹生神社の門前町として栄え、更に参宮や吉野・高野山詣の旅人が泊まる宿場町（丹生宿）として賑わっていた為、商売人が多くいました。

医者として波多瀬出身の野呂元丈が8代將軍吉宗に仕え、醸造業が盛んだった車川では北村醤油醸造場と油田酒醸造場が創業しました。



油田公園@車川

鎌倉時代中頃、古江と朝柄の間に上野国（群馬県）から文徳天皇の子孫の野呂氏隆が移り住み、五箇篠山城を築いたと言われています。野呂氏は代々国司の北畠家に仕えました。

奈良時代には丹生山神宮寺が勤操大徳により開山。平安時代に入ると、弟子だった弘法大師が七堂伽藍を建てました。

丹生神社には、聖武天皇が東大寺大仏殿の建立の時、水銀が採れますようにと祈るとたちまち湧き出したという言い伝えがあります。水銀の原料である丹砂（辰砂）は、縄文時代から採取・採掘が行われていたことが調査でわかっています。



丹生神社@丹生

私たちの住んでいる地域は、何千年も前から風土を活かして生活していたことがわかります。

勢和図書館の司書さんに
選書いただきました！



\\ 3大勢和本//
その2
「勢和村史 通史編」
編集 勢和村歴史編集委員会

2冊目は24年前（1999年）に11年の月日を経て刊行された、勢和歴史地図付きのコノ1冊！

*勢和図書館にてご覧いただけます。

ネーミング大募集!!

勢和農村 RMO 通信（仮）のネーミングを大募集しています！勢和地域に暮らしている多くの方々にお楽しみいただける、この通信のネーミングをぜひご提案ください！！

FAX : 0598-49-4828
(ふるさと屋)

応募方法
QRコード：
右図からアクセス下さい。



Next Issue 次号のご案内

勢和農村 RMO ビジョン
についてご紹介!!

トピックス
勢和農村 RMO 公式
LINE がスタート!

② 勢和クイズ

勢和本紹介ほか

*内容は変更することがあります。ご了承ください。